

三十一冊

貞政五年六月中旬

法因酒

拾五卷内

C88.0
G1
1-1

0430

御坊村文書

文書
番号

015

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

176

和歌山
縣立
御坊
書

南進より海路に備へて同相修理程
疎見多し用より仕上り地老幸海軍
海軍師範に在りて是れ一に在りて
右に在りて用をいへる今時を
是に在りて是れ一に在りて

之りて

陰平寺

0431

御坊村文書 文書番号 015



树屋

門中家世讀書人
 爲名爲利作一
 爲力爲財作一

淡雪の丘

村家

[illegible]

沈玉亭

山村居

各道より皇座に人々は
近き紙に人々を召し
取らせしに皇座に人々を
召し取らせしに皇座に人々を
召し取らせしに皇座に人々を

ろくろ 小村三郎
心少淵人佐金

水宿もみ

・方田 目高 中村之佐

平九郎通河紙通は佐村
佐村通河紙通は佐村
佐村通河紙通は佐村
佐村通河紙通は佐村
佐村通河紙通は佐村

出雲守

七郎左衛門

江平左衛門

世間人妻江平左衛門

了了

江平左衛門

江平村

大妻江平左衛門

江平左衛門

江平左衛門

0434

御坊村文書

文書
番号

015

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書

御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書

とて村を中

別海に通る経路は村上曰
たはるる事なりと云ふ
とて

深なるに帝

村を中

別海通る事なり経路は村上曰

たはるる事なりと云ふ

とて

中村を中

とて

七月廿九

宰相梅御受書儀此紙書

上直様御美意存此紙書

御書上

御書上 八月廿一日

御書上

七月廿九

七月廿九

賢右様御美意存此紙書

御書上 御書上

御書上 御書上



村長

南庄、河内、同村
春日、神に、今、ま、お、祈、れ、候
し、新、い、ん、り、誰、か、居、る、か、村
百、姓、の、心、を、お、祈、り、候、い、ふ
日、と、ま、し、て、
し、り、ま、し、て、
河、内、の、村、長

0440

御坊村文書

文書番号

015

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

右に於て本年秋田に入郷して古荒
起休并に謝免荒蕪をもちて同様に
申付申上りしに、所領しうさへ

高年八月に年換ありしに、同様に
申し上りしに、所領しうさへ

右村に於て、本年秋田に入郷して古荒
起休并に謝免荒蕪をもちて同様に
申付申上りしに、所領しうさへ

右に於て本年秋田に入郷して古荒
起休并に謝免荒蕪をもちて同様に
申付申上りしに、所領しうさへ

c8801
G1
1-15



唐土の古銅貨の図
石よりしるす銅貨の図
口底の字の図
一
唐土の古銅貨の図

0443

御坊村文書

文書
番号

015

3m

10

20



0444

御坊村文書

文書
番号

015

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26